

はじめに

平成22年度より、特定非営利活動法人 日本語教育ボランティア協会（通称 ジャボラNPO）は、浜松市教育委員会から派遣型日本語教室『まなぶん（西教室）』を受託しています。

『まなぶん』とは、スタッフが浜松市内の公立小中学校へ行き、指導を行う支援で、以下の形態です。

- ①初期日本語指導（基礎的な会話及び識字指導/40回80時間）
- ②授業・放課後における日本語・学習支援
（授業補助もしくは放課後の時間を使った学習指導/40回80時間）

初めて日本語を学ぶ子ども達が、楽しく日本語を習得してほしいという思いを込めて、このノートを作成しました。本書は20課で構成しています。全40回の指導のうち、はじめの20回を想定して作りました。

子どもに応じた支援を行うということは、10人の子どもがいれば、10通りのカリキュラムや教案が必要です。経験の少ない指導者であっても、授業準備や指導内容の検討に負担がかからず、コースデザインができるように配慮しました。

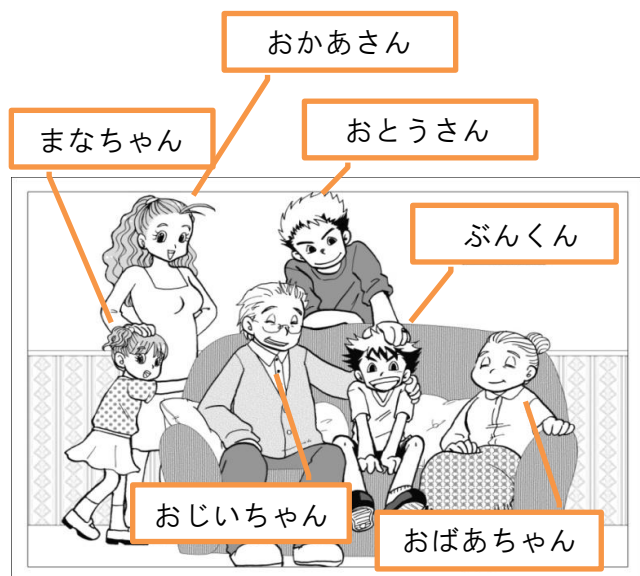
子どもは飽きやすく、単調な学習を好みません。子どもに合わせて作り替えられるよう、今後はウェブ上からこのノートをダウンロードできるようにします。例えば、ノートの1ページの中のイラストや練習、4コマまんがをばらばらにして他のページのものや組みかえたり、他のページから必要な箇所を取り出してつけることもできます。それにより、子ども達ひとりひとりの、オリジナルの日本語ノートを作ることが可能となります。教える側が日々担当する子どもの顔を思い浮かべながら、一番よい形に作り替えられるようになります。

使い方

まずはじめに、テキストと授業の流れを読みましょう。参考にしてください。次に、右側の空欄のページを使って、担当している子どもに沿った教案を作成しましょう。本書巻末には付録を付けました。イラストを使った導入等、指導内容に合った使い方を工夫してください。

登場人物

<まなちゃん・ぶんくんファミリー>



<ジャボラの森の仲間たち>

